



公式サイト

柳川市民文化会館

【開館時間】午前9時～午後10時、月曜休館
【問い合わせ】☎73・7777

水都やながわ information



(一財) 地域創造の助成金を活用して実施します 水都やながわ五つ星コンサート



【左から】イグナツ・リシェツキ(ピアノ)、日下紗矢子(バイオリン)、西本幸弘(同)、小峰航一(ビオラ)、トマシュ・スクウェレス(チェロ)

古川司裕・墨象ワークショップ



書道家・墨象家として近年大ブレイクしている古川司裕さん。市内3高校の書道部員と美術部員を中心にした合同ワークショップを開催します。高校生以外の参加も可能です。

- 日時 7月19日(土) 午前10時開始(午後3時終了予定)
- 入場料 無料
- 予約開始 5月31日(土) 午前10時から市民文化会館で受付開始

ポーランド出身で福岡在住のピアニスト、イグナツ・リシェツキを中心に、国内外で活躍するトップクラスの奏者が柳川に集結します。3回目となる今回は「アメリカ合衆国」をテーマに、ガーシュイン、バーンスタイン、ジョン・ウィリアムズといった最もアメリカらしい華やかな作品のほか、隠れた名曲、そして現代音楽家による新曲をお届けします。

- 日時 8月3日(日) 午後2時開演(開場は45分前)
- 入場料(全席指定) 一般4000円、高校生以下1000円 未就学児入場不可
- 無料託児 7月25日(金)までに要予約
- 前売券販売 5月10日(土) 午前10時から市民文化会館で販売開始

柳川ジャズ・ナイト vol.1 オルガンジャズ

ジャズギターの第一人者であり柳川観光大使の田口悌治を中心にした一流メンバーでジャズの素晴らしさをお楽しみいただく3回シリーズの柳川ジャズ・ナイト。第1回は普段、耳にすることが少ない Hammondオルガンをフューチャーした「オルガンジャズ」です。

- 日時 8月16日(土) 午後6時開演(開場は45分前)
- 入場料(全席自由) 4500円(ソフトドリンク1杯付) 未就学児入場不可
- 出演 西川直人(オルガン)、宮地スグル(サクソ)、長谷川ガク(ドラムス)、田口悌治(ギター)
- 前売券販売 5月31日(土) 午前10時から市民文化会館で販売開始

定例
イベント

第1.3
木曜

リトミックひろば

- 日時 5月1日(木)、15日(木)
①午前10時～②午前11時～
- 料金 1組500円
- 講師 CHIAKI

第3
金曜

ロビーコンサート

- 日時・料金 5月16日(金) 午後7時～(約60分)、無料
- 出演 トリオ フィオーレ(フルート、バリトンサクソ、ピアノ)



【写真②】 英隊変隊御賞典禄配当石高控(「藩政」1261)



【写真①】 高尾九左衛門と力士楊柳久五郎

今回紹介するのは、先日柳川古文書館に寄贈されたガラス湿板写真です。これまでに何度か紹介しましたが、戊辰戦争に従軍した柳川藩士が記念に上方で撮影した写真の1枚です。写真に写る特徴的な市松模様の敷物から、京都の堀与兵衛の写真館で撮影されたものと考えられます。

写真①には2人の男性が写っています。扇子を括げて椅子に腰掛けた左側の男性は、写真に見える文字にある高尾九左衛門です。元治元(1864)年の分限帳によれば、高尾九左衛門は三人扶持一〇石の藩士で、戊辰戦争には英隊の一員として従軍しました。ズボンを履き、革靴を履いています。上着の袖には2本のラインが配されており、これは戊辰戦争に従軍した他の柳川藩士の軍装と共通しています。

興味深いのは、高尾九左衛門の右側で片膝を立てて控える男性です。左手に洋式銃を持ち、高尾と同様の2本のラインが配された上着を着ており、腰には2本の刀を差しています。この

戊辰戦争に従軍した力士の写真

市史編さん係 白石 直樹

人物は写真にある文字から「力士楊柳久五郎」です。この楊柳については、渡辺村男「旧柳川藩志」のなかの「力士列伝」の中に「山門郡三橋町枝光の、此人力量未だ幕内力士たらざるも奥羽の役我藩兵の本営附となり、柳河藩旗を捧持し戦闘に参加したり。依って楊柳の名皆人の知る所なり」と記されています。写真②の明治維新の功労者に政府が与えた賞典禄の帳簿である「英隊変隊御賞典禄配当石高控」という史料には、夫卒として「船津町楊柳久五郎」の名が確認できるので、彼が戊辰戦争に従軍したことは間違いありません。この史料にはこのほか、島ノ松千代吉、島渡新之十、島ノ森安次郎、小松川巳太郎、千年川巳之助という力士と考えられる人名が記載されており、彼らも夫卒として戊辰戦争に従軍したようです。

戊辰戦争に従軍した藩士の写真は複数確認できていますが、この写真のように夫卒として従軍した力士の姿まで写されているものは極めて珍しいものです。

市史抄片別巻 vol.92

「思ひ出」写真館

※表記は広報紙のルールで統一しています。

市史編集委員会では、数年後に写真を中心とした本を刊行する予定です。現在さまざまな写真や絵はがきなどを集めています。隔月の広報紙に、集めた写真を紹介します。

【問】 市生涯学習課市史編さん係(☎72・1275)